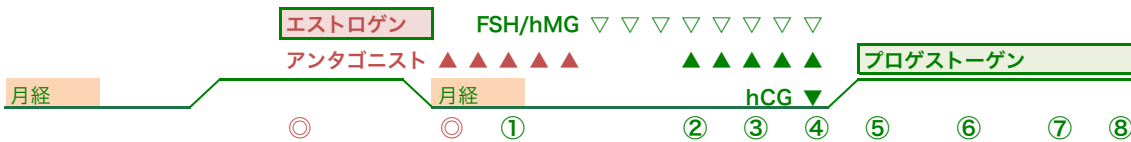


アンタゴニスト法

※ 診察の前にこの用紙と基礎体温表をお渡しください



<p>◎ エストロゲンによる卵胞発育抑制 (卵巣の反応が不良の場合に行います)</p> <p><input type="checkbox"/> 治療前周期の高温相3～5日目頃からFSH/hMGを開始する前日まで少量のエストロゲンを投与して、卵胞の発育を停止させます。月経はいつもどおりに起こります。</p> <p><input type="checkbox"/> エストラーナ：1回1枚を下腹部か殿部に貼付、1日おきに交換</p>	<p>月 日～</p> <p>【次回受診日】 月経後 / 月 日頃</p>
<p>◎ GnRHアンタゴニスト開始 (卵巣の反応が不良の場合に行います)</p> <p><input type="checkbox"/> 月経2～3日目から血中ホルモンを正常化させるためにGnRHアンタゴニストを7日間注射します。エストラーナは終了します。</p>	<p>月 日～</p> <p>【次回受診日】 月 日</p>
<p>① FSH/hMG開始</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 月経2～3日目 (またはアンタゴニスト7日間投与後) からFSH/hMGを注射します。</p> <p><input type="checkbox"/> ゴナールエフペンを () 単位自己注射します。</p> <p><input type="checkbox"/> ゴナールエフペンを初回 () 単位、2回目以降 () 単位自己注射します。</p> <p><input type="checkbox"/> HMGを () 単位ずつ自己注射します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 注射を5～6日間続けてから超音波検査を行います。</p>	<p>月 日～</p> <p>【次回受診日】</p> <p>① 月 日 ② 月 日</p>
<p>② FSH/hMG+GnRHアンタゴニスト開始</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 卵胞径が14～15mmになったら、排卵を抑えるGnRHアンタゴニストを使い始めます。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> GnRHアンタゴニストの効果が持続する期間は3mg製剤 (セトロタイド) が約5日間、0.25mg製剤 (ガニレスト) が約30時間です。</p> <p>0.25mg製剤はhCG注射まで毎日、午前中に注射します。</p>	<p>月 日～</p> <p><input type="checkbox"/> セトロタイド 3mg <input type="checkbox"/> ガニレスト 0.25mg</p> <p>【次回受診日】 月 日 AM</p>
<p>③ FSH/hMG終了</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 卵胞径が約18mmになったら注射を終了して採卵日を決めます。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 男性は採卵予定日の2～3日前に一度、射精してください。</p> <p>採卵日に精液を自宅で採取する方は、必ず採精容器を持ち帰ってください。</p>	<p>月 日</p>
<p>④ hCG注射・GnRHアンタゴニスト最終投与</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 採卵の約36時間前にhCGを注射して卵子を成熟させます。hCGの代わりにGnRHアンタゴニスト点鼻 (ブセレキア) を用いることもできます (効果はhCGに劣ります)。</p> <p><input type="checkbox"/> オビトレル 250μgを腹部に皮下注</p> <p><input type="checkbox"/> ブセレキア：両鼻腔に1回ずつ噴霧</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> アンタゴニスト0.25mgを使用している場合は午前中に最終投与します。</p>	<p>月 日</p> <p><input type="checkbox"/> AMにガニレスト皮下注</p> <p>21:00 (時間厳守)</p> <p><input type="checkbox"/> hCG自己注射 <input type="checkbox"/> ブセレキア点鼻</p>
<p>⑤ 採卵・採精 (Day 0)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 女性：軽食をとり、スリッパ、ナプキン、生理用ショーツを持参して来院ください。</p> <p>【手順】① 着替え → ② 鎮痛薬の坐薬挿入 → ③ 採血・点滴 → ④ 採卵 → ⑤ 病室 (個室も利用可) で静養 → ⑥ 胚培養士の説明</p> <p>※採卵後の生活に制限はありませんが、当日は無理をせず静養してください。</p> <p>※夜からデュファストンを1日2回 (朝・晩) 2錠ずつ14日間内服してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 男性：朝に自宅か院内の採精室でマスターベーションにて採精してください。</p> <p>※自宅で採精した場合は、来院時に容器を看護師にお渡しください。</p> <p><input type="checkbox"/> 移植カテーテルが入りづらい場合は、子宮頸管を広げる処置を行います。</p>	<p>月 日 ()</p> <p>8:00来院・8:45～採卵</p> <p>※入院入口でインターホンを押し、2階のナースステーション前でお待ちください。</p>
<p>⑥ 胚移植 (Day 2・3・4・5)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 食事を普通にとり、スリッパ、ナプキン、生理用ショーツを持参して来院ください。</p> <p>【手順】① 胚培養士の説明 → ② 採血 → ③ 着替え → ④ 胚移植 → ⑤ 会計</p> <p>※移植後の安静は必要ありませんが、静養を希望する方はお申し出ください。</p> <p><input type="checkbox"/> 不育症治療のアスピリンは胚移植後の夜から開始してください。</p>	<p>月 日 ()</p> <p><input type="checkbox"/> 14:00 (月・水・木) <input type="checkbox"/> 11:30 (火・金・土) <input type="checkbox"/> :</p>
<p>⑦ hCG採血 (Day 11)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 尿と血液の検査で着床の有無を確認します。</p>	<p>月 日 ()</p>
<p>⑧ 妊娠判定 (Day 14)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 尿と血液の検査で妊娠を判定します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> デュファストンを終了してください。</p> <p>※ 妊娠判定日より前に月経様の出血があっても妊娠していることがあります。出血はそのまま様子を見て薬を使い続け、妊娠判定日に来院してください。</p>	<p>月 日 ()</p> <p>※ 受付終了時刻の1時間前には来院してください。</p>